



通信

とこてく

高齢者あんしん相談センター石川



令和6年
1月号

特集

石川御嶽神社 インターヒル見守り隊

謹賀新年

石川町龍頭の舞は、天正元年（1573）に、西蓮寺境内の御嶽権現堂が再建され、その落成を記念して、村内の若者によって舞が行われたのが始まりとされている。明治時代の廃仏毀釈によって、御嶽権現が神社に変わってからは、西蓮寺と御嶽神社の両方で舞われるようになった。大頭は巻角、中頭は剣角、雌獅子は宝珠をつけている。例年、五穀豊穡、悪病悪疫退散などを祈り、御嶽神社、西蓮寺に奉納されている。

石川町龍頭の舞

引き継がれて450年！



◆保存団体
石川町御嶽神社龍頭の舞保存会

●八王子市無形民俗文化財（郷土芸能）
●日本遺産（ストーリーの構成文化財） 認定

いしかわみたけじんじゃ

『石川御嶽神社』をご紹介します。

西蓮寺の東側にある参道を北へ約100m進み123段の階段を上ると滝山丘陵の森に鎮座する神社が「石川御嶽神社」です。御祭神は日本武尊（ヤマトタケルノミコト）をお祀りしています。

毎日の感謝の気持ちや願いを神様に伝える場所として、さまざまな祈願や初詣、七五三詣といった年中行事にたくさんの方が訪れています。



おめでとうございます！

祝

七五三

お子様の健やかな成長と
幸せ願って...
氏中様にお参りしましょう



※口時 11月 12日・13日

10時～15時

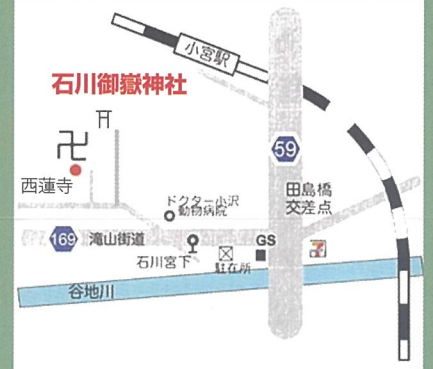
※主催 石川御嶽神社
※お土産・お守り用意しています
※写真撮影お断りいたします

石川御嶽神社

〈石川御嶽神社の行事〉

- 1月 新年祈願祭
- 4月 春の祈願祭
- 7月 夏の祈願祭
- 9月 御嶽神社例大祭
- 11月 七五三祝い
- 12月 お盆

11月の第2土・日曜日は七五三詣のお子様にお守り・お土産用意しています。



東京都八王子市石川町1番地

宇津木インターヒル とは どんな地域？

宇津木町北部の丘陵地を約50年前の再開発によりできた住宅地です。現在世帯数は約400世帯。73歳以上高齢者は約270人。一人暮らしの方、高齢者のみの世帯も増加傾向にあります。坂が多く一戸ごとの階段が長いことが高齢者の移動が困難となる大きな要因となっています。

見守り隊長は どんな人？

お子さんが学校に通っていた頃にはPTA会長を2年勤められ、現在も学校コーディネーターとして子ども・学校に関わる活動を続けていらっしゃいます。

見守り隊長
椎貝さん

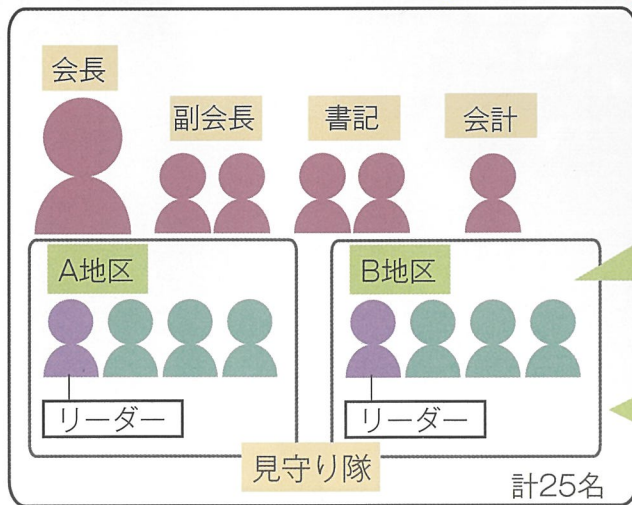
見守り隊概要

自治会の傘下として活動することで、自治会の予算を利用。また、会の信頼を得やすい。



見守り隊の
信頼度UP

予算



各班の活動状況、疑問点などを共有・協議。負担感やトラブル防止のため、家庭訪問ルールを作成。

担当地区ごとにグループ分けをしている。グループごとにリーダーがおり、リーダーを中心に活動時間や役割分担を決定。

若いお母さんから就労中の方、既に仕事や子育ては引退されている方など様々な方が参加。自治会の予算で運営しているが、運営メンバー内に自治会役員を入れることを必須としていない。現メンバーは、全員が自ら活動を希望した方達。

見守り方法

- 【1】 緩やかな見守り
日常生活の中でお互いが見守り合う。
- 【2】 外観からの見守り
月2回外観からの見守りをメンバーが行い、見守った旨を紙に書いてポストに入れておく。
- 【3】 訪問による見守り
月1回訪問し対面でお話する。



オリジナル
ベスト着用

見守り対象

異変

2と3について、対象者は原則75歳以上、高齢者のみの世帯で希望された方としている。

高齢者あんしん
相談センターに
相談



立ち上げの きっかけ

令和4年6月「我が町について語る会」を有志メンバーで開催。
高齢者あんしん相談センター石川と民生委員から、我が町の高齢者が抱えている課題を聞きショックを受けた。孤独死の事例もあった。これは自分たち自身の問題であると気づき、自分に何か出来ないかと考えた。

メンバーは全員、何かお役に立てるならという気持ちで名乗り出てくれた方々。
無理なく継続できることが大切。平日の夜間に協議会を開催。1時間で話し合いたいことの結論が出るように、資料作成し準備を整えた。

回覧で全自治会員に活動立ち上げについて周知しメンバーを募った。集まったメンバーで担当地区を決め、高齢者がお住まいと思われる家庭を全戸訪問。見守りを希望するかどうかの調査を行った。「今はまだ必要ない」という方はいても、批判的な意見は一つも聞かれず、とても好意的に受け止めてくれる方が多かった。

立ち上げ時の 工夫

50年前、インターヒルが出来た当初に転入。

まだ小学生だった子どもたちのために、自身で子ども会を立ち上げた。子どもたちももう60歳を過ぎた。ご近所付き合いも今はほとんどなくなってしまい、近所に誰が住んでいるのかもわからない。そんな中、見守り隊としてお若い方々に訪問してもらいとても嬉しい気持ち。



高齢者の方の声
ミヤタさん（92）
奥様と二人暮らし

見守り隊メンバーの声

実際に消費者被害にあった方が、訪問時に不安な気持ちを吐露してくださった。被害について話してくださったことで、回覧で手口を会員に伝えることができ、被害が増えることが防止できたのではないかな。

訪問したときに感謝の言葉を言ってもらえることでやりがいを感じている。

自分たちがベストを着用して町を歩くこと自体が防犯につながる。ベストを着ているだけで、今まで挨拶もしなかったような方から声をかけてもらえるようになった。

出来る範囲で見守りをすればよいので、負担感は少ない。

今まで話す機会の無かった、隣近所の高齢者が抱える不安や課題を、直接お話を聞いて知ることが出来る。



見守り隊 の 様子



会議の様子



訪問の様子



おそろいのベスト

今後の展望

活動の継続により、住民同士が相互に見守り合い、自然とつながることが出来る町になっていくのが理想。「インターヒル見守り隊」に「高齢者」を付けなかったのは、子どもたちの見守りにも発展していけると考えてのこと。

今後、高齢者から聞かれるちょっとしたお困りごとがどう解消できるか、活動の範囲を更に発展させていくことについても検討をしていきたい。

高齢者あんしん 相談センター コメント

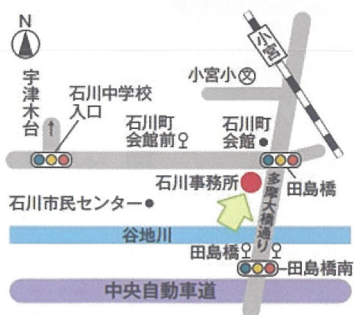


住民が、「地域が抱える課題について知る」ということが第一のステップで始まった、この活動。

見守り活動から、高齢化による課題のみならず、防犯や子育てしやすい町と発展し、地域全体の活性化につながるのではと期待しています。

これからも、見守り隊の方々と協力しあい、継続と発展についてお手伝いできたら幸いです。

高齢者あんしん 相談センター石川



八王子市石川町481
石川事務所内
042-631-0071

開所曜日 月曜日から土曜日
開所時間 9:00~17:30
休日 日曜日・祝日